



八王子市議会議員 市民・民主クラブ

あ ん ど う 修 三

# 安藤おさみ

## ご挨拶

本年 4 月 24 日に行われました、八王子市議会議員選挙において 3671 票を賜り、初当選させて頂きました。実績の無い新人の私に、期待値を込めて投票して下さいの方々の想いを裏切る事の無いよう、初心を忘れず市政改革に取り組んでまいります。

定例会 (6 月議会) が招集され、初めての本会議での一般質問を行いました。本定例会では、一般会計補正予算など、市長提出議案 11 件、議員提出議案の震災関連の意見書 3 件、放射線測定に関する請願などが審査対象となりました。市長提出議案の中心となった補正予算は、約 8 億 6 千万円を、市営住宅の耐震化経費や、防災無線の刷新など、震災関連の費用が中心で、その他に平成 25 年の東京国体開催に向け、富士森市民球場の施設整備費などが盛り込まれた内容となりました。これらの議案は全て可決・成立しました。

この度は、定例会の一般質問の内容や、今後の八王子市政における論点などについて報告させて頂きます。

## 定例会一般質問 (要旨)

- ① 住民自治制度の整備促進について ② 公共交通の整備について ③ 自然エネルギー利用促進について

### ① 住民自治制度の整備促進について

今回の震災では、行政機関が津波の被害を受け、地域住民の自主防災組織などが被害減少に活躍しました。いわゆる「自助」の地域組織の重要性が再認識されました。八王子市では、ゆめおりプラン (基本構想) の第一項目に、「協働のまちづくり」を目指すと掲げています。しかし、市政世論調査などの結果を見ても、市民の実感として施策の効果があがっていないようです。具体的には、地域自治区などの都市内分権を進め、「地域の事は地域で決める」仕組み整備し、住民力を最大限発揮できる仕組みを整備する必要がある、との提案をしました。

市側の回答は、一部の市民代表者や有識者などから、市民協働については一定の評価を得ているが、世論調査の結果からみると、その広がりや欠けているようだ。より一層市民協働の推進に努めていく必要がある。地域自治区などの都市内分権に関しては、それを担う住民意識の醸成などが未成熟で、いわゆる「受け皿」が出来ていない為、当面の実施は考えていないとの事でした。

住民自治の概念は、憲法にも「地方自治の本旨」として謳われている地方自治の非常に重要なテーマで、私が地方議員を目指すきっかけとなったテーマです。地方自治の現場は、民主主義の学校として、民主政治の土台となる政治教育の場としても非常に重要な役割があります。また、今問題となっている、地方議員の定数の問題や、混迷する国政の問題など、選ぶ側が変われば、選ばれる側も変わる、その解決の糸口となるのが、住民自治組織などの都市内分権にあると思っています。ご興味のある方は、HP に論文を載せているのでご覧ください!

### ② 公共交通の整備について

高齢化が急速に進む中で、市民の足となる公共交通の重要性はだれもが認める所です。行政としては、市民ニーズをしっかりと捉え、公共交通をより一層きめ細かく整備していく必要があります。一例として、八王子駅南口の再開発に伴い、バス路線が変更され、中央線より南側の八王子駅行きの路線が、南口に集約され、小比企町や山田町、緑町方面の方々が、八王子駅北口や京王八王子駅に行き辛くなりました。また障害者団体の方々からも改善要求の声があがっている現状を訴え、一日数便でも、北口行きの路線を増便して欲しい旨、要望しました。また、LRT (ライトレールトランジット) などの新公共交通の導入メリットを訴え、今後市として、導入の効果や予想される費用などの議論をしていくべきと提案しました。

市側の回答は、バス路線の問題に関しては、市としても問題を共有しており、バス会社に要望を伝えているが、未だ良い回答は貰えていない。LRT などの新公共交通に関しては、当面市内公共交通の主なものとしてバスや

市民の生命とも言える生活の足を確保する事は、行政の役割であり、今後も継続して問題解決に当たる事、私個人も問題解決に協力する旨を訴えました。LRTは、これから20年30年後の街づくりを考える上で、今後も八王子市における導入メリットやコスト、費用対効果などを議論していく必要があると主張しました。

### ③ 自然エネルギー利用促進について

先の震災における計画停電は、我が市にも深刻な影響を及ぼし、改めてエネルギー政策の重要性を認識しました。個人住宅については、太陽光発電パネルなどの設置拡大が、停電対策の意味でも有効であると訴え、市ではモニター事業として、1件10万円を上限として、1000万円の予算で設置補助をしていが、他市の状況などを鑑み補助金の算定基準や補助単価の引き上げ、予算枠拡大など通じより強力に推進していく必要性を訴えました。またそれらの設置促進に伴う弊害などの対策を予想し、進めているかについて質問しました。

市側の回答は、いまのモニター事業の状況を判断し、算定方法や単価、予算などに関して検討していきたいと回答がありました。また、パネル設置促進に伴う弊害については、特に上がってきていないとの回答でした。

太陽光パネル設置をより一層推進し自然エネルギーへの転換を促すと共に、例えばパネルが太陽光の乱反射をし、近隣住民の室内に光が入り眩しくなる、「光害」という弊害も出ているので、注意が必要だと訴えました。

## 被災地を訪問。8月にも

4月30日～5月4日まで、岩手県の被災地での復興ボランティアに参加してきました。友人達のカンパで食料や衣類などの救援物資をお届けし、陸前高田市などで民間ボランティアとして復旧作業にあたりました。津波の被害を受けた地域は、がれきの山やひっくり返った車、流された漁船など、戦争写真などで見るような眼を疑うような風景が広がっていました。がれきの山の中に、重機の音と波の音だけが響き、魚などからの鼻がもげるような強烈な腐敗臭が辺りを覆っていました。私は食品加工工場の倉庫から流れ出た、腐敗したサンマや鮭などの撤去を行いました。GWと言う事もあり、多くのボランティアの方が参加されていました。こういった取り組みを一過性のものとすることなく、継続的に行っていく必要があると痛感しました。

帰省してからも、民主党八王子青年部の皆様と、市内各所で毎週募金活動を行い、8月10日から、これまで皆様からお預け頂いた義援金を携え東松島市に再度ボランティアに行ってきます。その状況等は、追って私のブログなどでご報告します。5月のボランティア活動の様子もブログに掲載していますので、是非ご覧ください

## 今後の市政の論点

そごうの今後：存続に関する署名運動も約8万人集まり、活発に行われています。より魅力的なデパートとして生まれ変わった上で存続することがベストですが、それが叶わない場合、どんなテナントがその後に入るべきか、両睨みの状況です。いずれにせよ八王子にとってどんな駅ビルが相応しいか、議論していく必要があります。

市議会改革：新しい正副議長が議会基本条例の制定に言及し、議会改革が進む素地が整いました。これから議会基本条例の策定作業に入る事が予想されますが、骨抜き条例とならないよう、議会の自浄能力がどれほどあるか、市民の皆様も注目しててください。

次期市長選挙：来年初旬に次期市長選挙が行われる予定です。現職市長が続投の意向を示すのか、新しい候補者が立候補するのか、これから水面下での動きが活発になってきます。市民の皆様もこれまでの市政の総括や、自分の考える市長選での政策、争点などこれからの八王子に何が必要か、もう一度考え直す機会になると思いますが

## 数字あれこれ

今回の八王子市議選の投票率：44.73% 皆さんはこの数字を見てどう思いますか？

今回の統一地方選挙の市区町村議会選の全国平均は50.82%で、震災の影響もあり、全国的に前回より低い数字となりました。私は政治家が、「皆さんもっと投票してください！」と言うのは筋違いだと思っています。この低い投票率の原因は、論点が見えにくい、誰を選んでも…、など色々あると思いますが、やはり政治家の努力不足だと思います。皆さんに関心を持ってもらえるような政治を行う事が、議員に課せられた使命だと思います。

### <安藤おさみ プロフィール>

1980年4月28日生まれ

【学歴】山田小、第七中、日大三高  
日本大学 生物資源学部卒業  
早稲田大学大学院 政治経済学術院  
公共経営研究科 修了

【職歴】商社営業を経て、(株)船井総合  
研究所にて経営コンサルティング職  
として勤務

【政治活動】2011年八王子市議会議員

### ご意見・ご要望/安藤おさみと語る会(座談会)随時募

お名前

お電話番号

ご住所

■ご意見・ご要望お寄せ下さい/座談会で語りたいこと…等

安藤おさみ HP・ブログ ☎ 【安藤おさみ】で検索! メール: osamiando55@gmail.com

上記ご記入のうえ、この用紙をFAXください。【FAX】042-649-9777